

Q & A (出典:文学部文芸思想「オンライン授業に向けて」)

Q:ヘッドセット、マイクなどは必要でしょうか。

A:スマホやパソコンに内蔵しているマイク、スピーカーが機能していれば差し当たり必要ありません。

あるに越したことはありません。

Q:ノートパソコンは持っているのですが、パソコン自体の能力が低く心配です。

A:スマホのほうがスムーズならばそちらをお使いください。パソコンは、授業時間外にレジュメやレポートの作成に使う、など、用途別に分けると良いと思います。

Q:PC 操作が苦手なので、難しい操作ができるか不安です。

A:慣れてしまえばそれほど難しい操作はありません。ただ、授業の最初では必要な操作について履修学生が共有できるように配慮します。

Q:PC ではなくスマホで授業を受ける場合、できない機能は何か知りたいです。

A:スマホでも「聴くこと」「話すこと」「示されたファイルを見ること」など基本的な機能は使えます。また、オンライン授業を受けているときに一旦退出することなく、スマホの他のアプリケーションを使用すること(インターネット検索やスマホに保存されたファイルを参照することなど)も可能です。ただし、PC の場合、「画面共有」と言って、自分の PC に保存されているファイル(ワードなど)を他の参加者にリアルタイムで見せることができますが、スマホでは難しいです。ただ、事前に Blackboard 等にファイルを提出し、教員が操作することでこうした難点は回避されます。

Q:スマホのカメラで自分の顔がドアップにならないために距離を設けると、今度はマイクが声を拾わないの

ではないか。

A:一般のスマホはそれほど機器に近づかずともマイクが音声を拾うようになっていますので心配いりません。

Q:演習以外の、本来大教室で行われるような授業において学生間のある程度の匿名性は保たれるか。

A:基本的に、履修者の多い授業では、リアルタイム双方向の形式を取ることはありませんので、履修者の名前が表示される心配はありません。また、学生のプライバシー、匿名性については教

員の側も配慮しかたで授業を展開するようにします。

Q:生活音が入るか心配

マイクがあるのがベストですが、ない場合でも、自分が発言を求められたとき以外は、音声をオフにしておくことができますので、生活音ができるだけ入らないようにすることが可能です。

Q:背景に部屋が写ってしまうのが気になる。

こればかりは、気にならない壁などを背にするなど各自で対処いただきたいと思います。なお、アプリによっては自由に背景を設定することができるものもありますが、容量が大きくなるためあまりオススメできません。

Q:パソコンはありますが、印刷機はありません。講義のレジュメなど大量の印刷を外出して行うのは経済面、健康面での不安が大きいです。

A:PC、スマホ、インターネット接続環境のほかにも、印刷機、ワード/パワーポイントなどスマホ以外の機器を必要とするものについて、できるだけ学生に不利益がでないように配慮します。